

ぼくと妹

山県市立富岡小学校 二年 さわ田 き一

ぼくには、二つ下の妹がいます。「あこちゃん」とよんでいます。

あこちゃんとぼくは、よくけんかをします。だから、お母さんにもよくしかられます。ぼくがわるかったなと思うときもあるけれどあやまらないし、けんかをやめることもなかなかできません。

あこちゃんは、二月に心ぞうのびよう気をなおすために入いんしました。あこちゃんが家にいない日が何日もつづきました。夜、ねるときに、あこちゃんのいびきが聞こえないのでさみしくなりました。びよういんに行っても、かんせんしようたいさくのため、子どものぼくは、あこちゃんに会うことができません。だから、あこちゃんから見えるところにあるちゅう車じょうでお父さんとまっついて、あこちゃんに手をふったり、テレビ電話で話したりしました。そのとき、はじめて、あこちゃんとまい日いつしよにいることはあたり前のことじゃないのだと気づきました。

お母さんから、あこちゃんが

「き一とあそびたい。」

と言っていたと聞いたとき、ぼくも同じ気持ちでした。ぼくは、日記や絵をかくことはにが手だけど、あこちゃんに手紙や絵をかきました。あこちゃんをおうえんしたかったからです。だから、あこちゃんがたいいんしてきたときは、本当にうれしかったです。

あこちゃんは、ぼくが三年生になるときに一年生になります。そうしたら、学校のことをいっぱい教えてあげたいです。生活科のじゆぎょうで、二年生の子から教えてもらうはずだけど、それよりも先にぼくが教えたいです。だって、ぼくはお兄ちゃんだから。やさしくて、いっぱいあそんであげるお兄ちゃんになりたいです。